



人材活用・活性化人事システム

## 社員は社長と同じ方向を向いていますか？

～ 社員とともに経営目的・目標達成を目指す人事制度 ～

### はじめに

「5年後売上倍増」「顧客満足度地域 1店」「新規事業へのチャレンジ」  
社長の考えておられる経営目的・目標の実現のためには、社員が本気になれる「人事制度〔賃金,評価〕」が必要です。

経営目的や目標を社員に伝える手段には、経営計画策定・売上目標設定・経営方針などがありますが、賃金・考課制度整備も重要な手段です。社長の考えが制度に落とし込まれていれば、社員の努力がそのまま社長と会社の目標達成・業績向上・理念の実現につながることでしょう。

この仕組みを作るには、経営者が目指す方針、目標に沿った成果を上げた社員が公平に評価される明確かつ透明な賃金・考課制度が必要となります。この制度は賃金原資の有効利用につながることは言うまでもなく、社員にとっても、やる気を起こさせるシステムとなり、会社全体の活性化に結びついてゆきます。

しかし、実際問題としては現状の制度見直し・変更をどのように行っていたらよいか戸惑われる経営者の方や人事担当者の方も多いかと思えます。

私どもでは、中小企業の経営者が求めている現場実態を組み込んだ人事制度構築を、人事マネジメントの専門スタッフによってご支援いたします。

人事マネジメントスタッフが『人事制度無料相談』をお受けいたしております。



## 『人材活用・活性化人事システム』とは

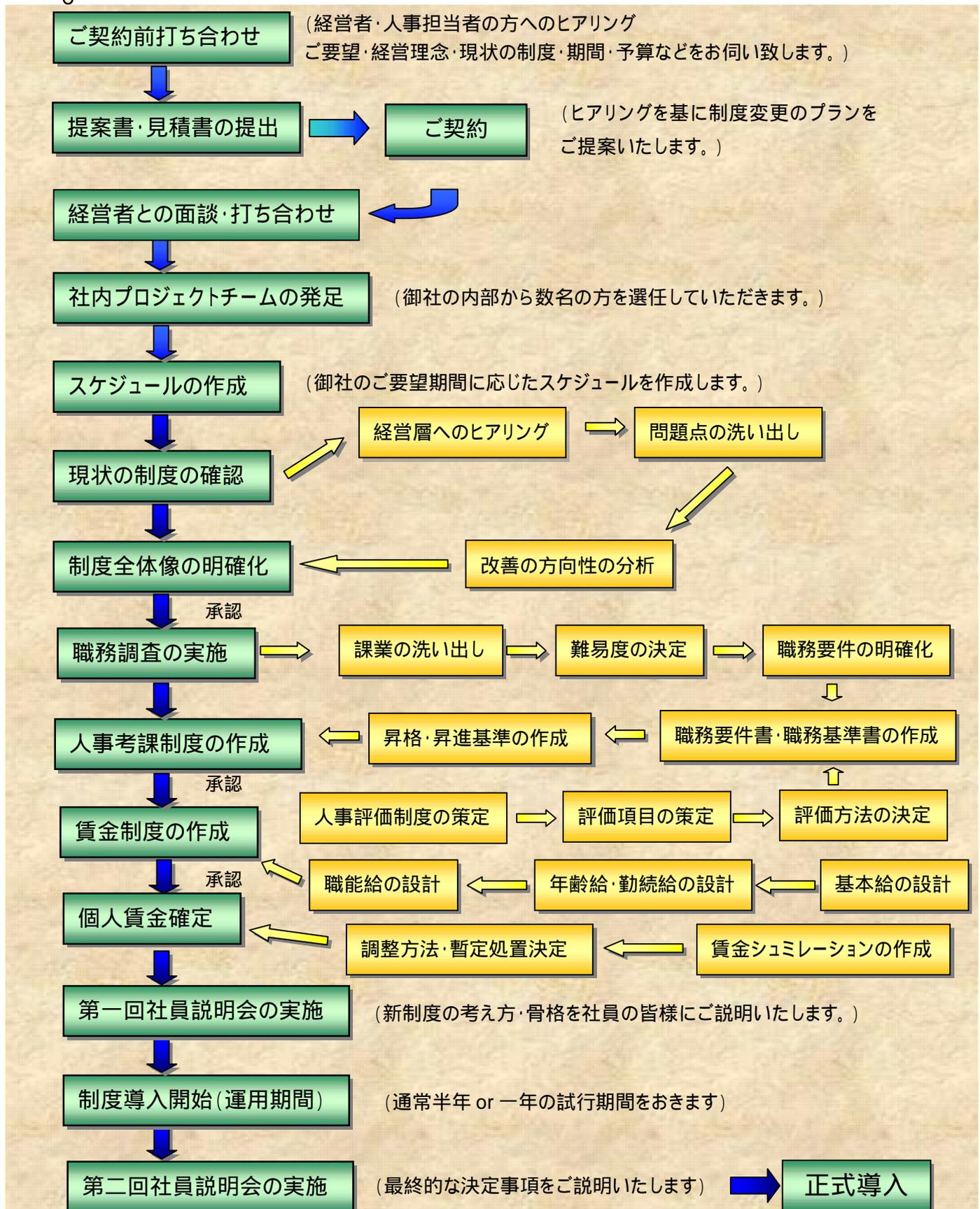
私どもが賃金・考課制度を見直すに当たり最初にすべきことは御社の経営理念を再確認し、明確にすることです。経営理念は経営活動の原点であり、経営活動の方向を示し、これを実現するために経営方針・経営計画が立てられます。人事計画ももちろんその経営計画のひとつであり、すべては経営理念から発するものであるからです。経営理念の検討なしに人事計画を単独で策定することはできません。経営者の理念を人事計画に反映させることによって全社員が同じ目的を持って同じ方向に進むことができるのです。そこでこのシステムではまず経営者の方に経営理念を明確にしていただき、それに基づく人事計画を立てることから始めます。

また、経営資源は「人・物・金・情報」と言われますが、商品やサービスを作り出すのはあくまで人であり、その点からも最大の経営資源は人であると言えます。その『人』中에서도優秀な人材を社内に増やし、やりがいを持って働いてもらうためには公平な基準を持ち、かつ誰にでも透明で納得できるような人事システムを構築する必要があります。そのためここでは各課業を洗い出し、その評価を明確にすることによって社員の皆様が向上心を持って働けるような制度作りをいたします。

そうして経営者の方・社員の皆様がともに納得できるようなシステムを生み出すことによって、組織全体を活性化し、会社に更なる利益を生み出せるような風土作りを構築することができます。



# 標準的な制度導入の流れ





## システムのイメージ

経営理念

経営方針  
(ビジョン)

経営計画

- ・生産計画
- ・販売計画
- ・投資計画
- ・資金計画

社員と会社の目標の合致

人材活用・活性化  
人事システム

人事計画

評価方法の透明化

社員のモチベーション向上

為すべき業務の明確化

求められる社員像の明確化

《お問い合わせ先》

株式会社 マウンティン 担当 金子・徳田

〒114-0023

東京都北区王子2-12-10

TEL 03-3912-4417 FAX 03-3912-1658